

オンリーワン幼稚舎研修報告書

まずオンリーワン幼稚舎にうかがわせていただくことになり、英語などもやっており、アドラーの心理学を実践していると知りどのようなことをしているのか想像しにくく興味がわいた。アドラー心理学についてはゼミで嫌われる勇気を読み、話し合いをして学んではいましたが、まだまだ分からないことだらけで大丈夫かと心配なことだらけであった。アドラー心理学をどのように教育にいかしていくのか知ることができるのは考えただけで終わることがなくなると感じた。

実際にオンリーワン幼稚舎にうかがわせていただき、見学させていただきましたが驚くことばかりでした。自分の今までのイメージだと英語の勉強などをしているということは子どもたちもあまり遊ばずやっていて大変なのかなと思っていた。一番印象的だったことは子どもたちが笑顔で楽しそうに取り組んでいたのが楽しみながらやっていることがわかった。今までのイメージとなぜこんなにも変わるのか考えたときにやらされていると感じながらやるのか、楽しいと思いつながらやることで違うと思った。やっていることの内容としては私にはできないなという部分がたくさんあり、負けているなと思うところがたくさんあった。朝の会・是好日日課では本当に難しい言葉をたくさん覚えていることについても驚き、子どもたちがみんな一生懸命で圧倒された。自分が同じくらいの年齢の時を考えたら全然違うなと感じた。子どもたちが楽しく取り組むにははじめが大切なのではと思う。もし子供たちがはじめにいやだなと思えばそのあといくらやっても楽しくないことをずっとしないといけなくなる。だが、もっと知りたいな、楽しいなと思うと活動が楽しくなりもっとやりたい、知りたいと思うようになるはずだ。活動を定着させていくことにはたくさんの工夫が必要なはずだ。

年齢に分かれてからの活動では、跳び箱をし終わってから片付けと次の活動の準備をしていましたがそのときに先生が自然とみんなに何か仕事があるようにして男女や班ごとで分けることがあっても人数も踏まえてすぐに指示をだして自分のやることを子どもたちがわからないという環境がないなと思った。机をだすときも仕事が終わった子供たちも来ても班のみんなで机を出してねと声をかけたりして状況に応じての声かけがすごく子供たちの活動のしやすさに影響しているのではないかと思った。子どもたちへの声かけの大切さは感じていたが今回すごくいい声かけをたくさん吸収することができた。出席の確認をするときも名前の書かれた紙を用い、名前を読んでいたのが視覚からもわかるようになっていてここでも工夫されていると感じた。子どもたちに背筋を伸ばすようにしているときに何を声かけしているのか疑問でしたがその子供が言われたいような言葉をかけているとお聞きして今までそのような取り組みをしているところを知りませんでした。一人一人のことをしっかりと見ていないとかけることができない言葉があると思う。だからこそ子どもはより前向きになれるのではないかと思う。フラッシュカードも用いた活動ではフラッシュカードの内容が日本のお城、国旗、日本の伝統、日本の色、県庁所在地など

日本についてこの活動で分かるようになっていっていると分かった。日本の色など私がわからないようなものもあったので私より知っていることが多いと感じた。自分の国に誇りをもち大切にしないといけないのに全然できていないということを感じさせられた。日本の文化や伝統を学び、英語を身に着けることにより、日本のよさを使って海外にプレゼンテーションできる人材を育てるとありましたが活動を見させていただいてすごくわかると思った。バランスのとれた教育内容として知育活動、心育、アドラー心理学、修身、体育とありましたが今回見学させていただいてほんとに盛り込まれていると感じた。心育に力を入れているということで参加させていただきましたが自分の感情の色の選び方や表し方が本当に素直だと感じた。どの色を選ぶかを大事にしているわけではないと分かりその活動で何を大事にするのかが重要だと考える。そこで色を大事にしてしまうと限定してしまうということがわかった。子どもの時から相手の気持ちを考える活動、班で自分の思いを伝える活動はとてもいいなと感じた。

今回見学させていただいて一番は子どもたちがすごく楽しそうで行くまでと印象が変わった。何より子供たちのことを否定することが全くないことが子どもたちにとってとてもいい環境だと感じた。自分もできるよう普段から意識していきたい。オリジナルの活動も多く思っていたよりとても魅力的だと感じたので私もこのような教育を受けてみたかった。そしてもっと知りたい、外遊びなども見てみたいと感じた。アドラー心理学についてもわかり、いままでと違うことをたくさん知れてよかった。